

病院運営協議会議事録（令和5年度第3回）

日 時	令和5年11月16日（木）			13時30分 ～ 15時05分
場 所	講堂	進行	鎌田会長	
出席者	協議会委員	鎌田、笹原、本村、福田、西村、服部、伊藤、小林、斎藤、岩崎、荻原（各委員敬称略）		
	市立病院	井上院長・依光副院長・藤田診療部長・中村副診療部長・門脇看護部長・三国薬剤部長・竹村総務部長・赤久保企画部長・仁賀田事務長・宮澤総務課長・横井医事課長・長島経営企画室長・角事務部主幹・高橋患者総合支援室長		
	説明者 オブザーバー			
欠席委員		書記	総務課 堀口	

（敬称略）

議事録

1. 開会挨拶	
【挨拶】 鎌田会長	
	インフルエンザが流行しており、学級閉鎖が出てる学校がありますので、皆様、お身体には十分ご注意ください。
2. 病院長挨拶	
【挨拶】 井上院長	
	インフルエンザは市中で流行していますが、当院では重症患者が出ておらず比較的落ち着いた状況で、コロナも同様の状況です。ポストコロナに向け職員の行動規制を解除しつつですが、病院内でのマスク着用は引き続き実施中です。
	当院の状況として、ポストコロナに向け、発熱外来及び特別棟を撤去し感染症関連は院内で診療しています。また、コロナ病床は0床としたためコロナ補助金がなく、病床利用率向上に取り組んでいますが、まだ成果が上がってこない状況で、これは他の公立病院でも同様の状況です。院内コンサートや絵画の展示など様々なイベントを復活しましたが、オープンホスピタルなどはまだ再開できていない状況です。
	次に医師の確保ですが、来年4月から脳外科医を配置します。脳外科では2年間入院や診療が出来ず、また救急応需にも差し支えていたので、今後改善することに期待しています。耳鼻科や乳腺外科の医師が不在し入院や診療ができていないので確保に努め募集を続けます。内科では、総合内科・神経内科・消化器内科・循環器内科等が不足し募集しています。看護師では、確保ができず病棟閉鎖などが他病院でなっていますが、当院では来年春における看護師の人員は充足しています。
	最後に医師の働き方改革ですが、宿日直許可を取得し、医師が翌日休める環境を整えるようしていきます。また、時間外の水準はA水準とし、時間外の削減を行い月80時間以内になるよう取り組んでいきます。
3. 運営協議会の委嘱について	
【説明】 宮澤課長	
	多職種連携の観点から看護師の代表としてかつ幅広く医療専門の有識者から意見を頂戴したいことから新たに委員を委嘱したことを説明。委嘱状の交付は時間の都合上机上にて配布し、新委員の福田委員よりご挨拶をいただいた。
4. 前回議事録の確認	
	鎌田会長より、各委員にてのちほど資料2の議事録を確認し、不明な点があれば事務局に確認するよう説明。
5. 協議事項	
(1) 会議録の公開について	

<p>【説明】 宮澤課長 資料3に基づき説明。</p> <p>市民参画における会議録の公開要望が多く、多くの会議体で会議録を公開しています。ついては、当協議会でも会議録は作成していましたが、内部での公開にとどまっていたので、今回新たにホームページに掲載し、病院での現状や課題を市民や地域の方々に知っていただきたいと考えています。なお、発言者の氏名は伏せます。</p>
<p>【委員】</p> <p>資料2にある会議録の発言者氏名を外したものが掲載されますか。</p>
<p>【宮澤課長】</p> <p>お見込みのとおりです。</p>
<p>(2) 都内における感染症の状況について</p>
<p>【説明】 井上院長 資料4に基づき説明。</p> <p>インフルエンザの流行は、先月の時点でピークを迎える予想でしたが、まだ流行が続いている状況で年末までこの状態が続くことも予想され不透明の状況ですが、23区と比較して日野市の流行値は多くない状況です。流行中のウィルスはH1型やH3型の種類で当院で接種しています4価ワクチンがこのウィルスに対応しています。当院におけるコロナの陽性状況は8月を境に徐々に下がり、落ち着いている状況です。</p>
<p>(3) 入院・外来実績等の状況報告</p>
<p>【説明】 横井医事課長 資料5に基づき説明。</p> <p>入院では、救急受入を積極的に行い手術件数の増加に努めた結果、占床率は増加傾向です。</p> <p>外来では、紹介率・逆紹介率ともに経営強化プランの目標値を達成し、患者数が減少傾向です。</p>
<p>【委員】</p> <p>非紹介患者加算料の引き上げによる病院経営への影響と窓口でのトラブルはありますか。</p>
<p>【横井医事課長】</p> <p>地域医療支援病院の承認取得による加算を頂き経営に貢献しています。また、紹介状を持っていない方には、丁寧に制度の説明を行い近隣クリニック等の紹介を行うなどトラブルがないようにしています。</p>
<p>【藤田診療部長】</p> <p>コロナ流行時には紹介状がなくても受診が多かったので、7700円の非紹介患者加算料が収益に貢献しました。初診の方には総合窓口で非紹介患者加算料の説明を行い、理解の上受診してもらっています。</p>
<p>【委員】</p> <p>後期高齢者の負担割合が変更になったことや物価高騰の影響により、受診控えにつながったという患者の声は聞いたことがありますか。また、特定健診を受診したく有効期限後に市立病院に受診予約をしようとした際、期限後の受診は出来ない旨の回答を頂いた。市健康課に確認したところ、受診を分散させる目的で有効期限を設定していますので、期限後も健診の予約はできますとの回答を頂いたので、受診はできますか。</p>
<p>【横井医事課長】</p> <p>患者よりご質問があった事項で受診を控えたという声はまだ届いていない状況です。有効期限が絶対条件でなければ予約は可能ですので、市健康課に確認します。</p>
<p>【委員】</p> <p>以前は一年を通して受診予約が可能でしたが、受診が集中したため予約期限を設けた経緯がありますので、真意を市に確認をしたほうがよいと思います。</p>
<p>(4) 経営強化プランの進捗状況について</p>

<p>【説明】 長島経営企画室長 資料6に基づき説明。</p>
<p>各柱における主な実施状況を説明。</p>
<p>コロナ関係の補助金状況としては、R4年度は11億円の交付に対して、R5年度上半期は0.9億円の交付でしたが、10月以降は現時点では都から病床確保の指示がないため、このまま指示がなければ補助金は0円となる見込みです。</p>
<p>【委員】</p>
<p>院内にあるさやか学級について、常駐の教師がおり、子どもの病状など医師と教師が情報共有する場がありますか。</p>
<p>【宮澤課長】</p>
<p>第5小学校からさやか学級の担任を配置してもらい、患者がいればベット脇で授業を行い、いない時は執務を病院内のスペースで行っています。</p>
<p>【院長】</p>
<p>さやか学級を立ち上げた当初は、ぜんそくにより長期入院するお子様が対象でしたが、ぜんそくに対する薬の向上により自宅で病状管理が可能となり、それに伴い入院機会の減少によりさやか学級へのニーズが減りました。</p>
<p>その間も小学校から教師の派遣が続き、さやか学級は存続しました。最近はニーズが増え、さやか学級が開催される機会が増えています。</p>
<p>【横井医事課長】</p>
<p>以前は長期入院により学籍を変更し転校していただきましたが、現在は短期入院中での学力を支援する形としてさやか学級を開催していますので、転校の手続きは不要となっています。</p>
<p>【委員】</p>
<p>介護職に対する勉強会を開催した際、院長より地域医療支援病院として市立病院の今後の活動等をビデオにて説明していただき、出席者一同感謝していたので、一同を代表して感謝を伝えさせていただきます。</p>
<p>災害拠点病院として災害訓練の予定はありますか。</p>
<p>【中村副診療部長】</p>
<p>コロナ禍で大規模な訓練は実施できなかったが、今年度から院内で完結する訓練を実施予定で、その後地域を含めた訓練を企画していきたい。</p>
<p>【院長】</p>
<p>コロナ禍でも医師会を通じて通信訓練を実施し、災害発生時に活動ができるようDMA Tを中心に定期的に物品の確認をしています。</p>
<p>【委員】</p>
<p>訪問看護は、医師の指示書により配置ができますので、退院時は病状を把握していますので訪問看護が配置されるケースが多いです、しかし、外来の場合、外来医師の勤務ローテーション等により訪問看護の配置が遅れるケースが多く、早めに配置できるよう医師の協力をお願いしたい。</p>
<p>【高橋患者総合支援室長】</p>
<p>退院時は入退院支援の看護師やソーシャルワーカーが関わり入院中から訪問看護の配置を計画し、指示書の作成を行うことができますが、緊急時等連携看護師やソーシャルワーカーに直接相談をいただければ、担当医師に掛け合い指示書の作成をお願いしますので、連絡をいただければ対応します。</p>
<p>【藤田診療部長】</p>
<p>書類を作成するよう担当医師につなげますので、相談をお願いします。</p>
<p>【門脇看護部長】</p>
<p>外来でも地域と顔の見える関係づくりを構築していますが、地域の方からすると市立病院の壁は高く、電話がしにくく時間が過ぎてしまうケースが多いので、気軽に電話いただければ対応しますので、よろしくお願ひいたします。</p>

(5) 地域医療支援病院の実施状況について
【説明】 高橋患者総合支援室長 資料7に基づき説明。
高額な治療費の支払いなど経済的な問題についても、ソーシャルワーカーが行政の施策を検討し対応しますので、相談してほしい。
【委員】
救急車を呼ばなくても市立病院に依頼することで搬送ができるので、非常に便利ですので、他のクリニックにも周知をしたい。
【委員】
市立病院で救急車を運用するメリットはどこにありますか。
【藤田診療部長】
入院機会の増大や加算取得などにより収益が増えます。
【委員】
在宅からの搬送は可能ですか。
【高橋患者総合支援室長】
現在はクリニックからの搬送としています。自宅の場合、介護が必要となることが想定されるため、自宅からの搬送は行っていません。
(6) 産後ケアについて
【説明】 門脇看護部長 資料8に基づき説明。
他院での取組を参考に、連携をしながら事業を進めていきたい。
【委員】
日野市民ではないが、里帰り出産で市立病院で出産した場合は事業の対象となりますか。
【横井医事課長】
日野市との委託事業ですので、日野市民が対象となります。市外の方は、お住まいの自治体が行うケア事業を利用することになります。
6. その他
【委員】
がん患者の会から9周年記念講演会をR6年2月3日にイオンモールにて実施します。日野市立病院の協力をいただき、大杉頌子医師による講演会を行いますので、ご参加いただければ幸いです。
7. 閉会挨拶
【挨拶】 西村副会長
活発な議論ありがとうございました。コロナの影響により病床率の低下は大きな問題ですので、市立病院職員が一丸になって取り組まなければならないと数値改善は難しいと思いますので、頑張ってください。日野市医師会では、訪問診療への対応を国や都から検討課題として出されていますので、市立病院を巻き込んだ形で協力体制を得ながら検討していきたいので、よろしくご協力のほどお願いします。